

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	7,032,775	7,081,784	7,382,537
決算	6,951,947	6,940,411	
人件費(A)	89,200	96,200	106,000
報酬(B)	106	423	264
年間経費(予算又は決算+A+B)	7,041,253	7,037,034	7,488,801

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
企業債残高	億円	246	目標	251	251	250
			実績	251	251	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標どおりの251億円(水道213億円、簡水38億円)となり、企業債残高の抑制が図られた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	5,610,986	5,504,722	14.0		2.0	1.0	264
2	浜松市水道事業(資本的支出)				○	1,877,815	1,877,815					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						7,488,801	7,382,537	14.0		2.0	1.0	264

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

- 水道事業の経営管理
 - ・持続可能かつ健全な経営の推進
- 水道事業に係る組織・人事管理
 - ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
- 災害対策事業
 - ・他都市連携による防災訓練の実施
- 水道の普及啓発事業
 - ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての水道に対する理解及び安全・安心の啓発

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	5,280,200	5,187,394	5,504,722
	決算	5,208,754	5,185,293	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,182,851	5,155,132	5,356,507
	一般会計繰入金	25,903	30,161	148,215
人件費(報酬等) (千円)		106	423	264
人件費 (千円)		89,200	96,200	106,000
人工	正規	12.0	13.0	14.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	2.0	2.0	2.0
	非常勤			1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
企業債残高(億円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	251	251	250	249	249	246
実績値	251	251				
職員定数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	164	161	152	152	151	146
実績値	162	160				
他の自治体等との合同防災訓練の実施回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3	3	4	4	4	4
実績値	3	3				
啓発事業の開催回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1	1	1	1	1	1
実績値	1	1				

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

<p>○水道事業の経営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能かつ健全な経営の推進 <p>○水道事業に係る組織・人事管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化 <p>○災害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市連携による防災訓練の実施 <p>○水道の普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての水道に対する理解及び安全・安心の啓発

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標どおりの251億円(水道213億円、簡水38億円)となり、企業債残高の抑制が図られた。 ・職員定数については、161人の目標に対して160人の実績となっているが、国派遣職員の派遣先変更によるものである(厚労省⇒総務省)。国派遣職員の派遣先変更を除けば計画通りとなっており、計画的に人件費の削減を図ることができた。 ・19大都市水道局災害相互応援に関する覚書に基づき、堺市及びさいたま市との合同防災訓練を実施した。また、新潟県上越市で開催された日水協中部支部主催の合同防災訓練に参加した。 ・平成28年7月23日、浜松市ギャラリーモール「ソラモ」にて、水道、下水道を身近に感じ、体験できるイベント「上下水道フェスタ」を開催し上下水道の普及啓発に努めた。

・事業の見直し

<p>実施結果</p> <p>大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="-"/> / <input type="text" value="-"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p>
<p>今後の方向性</p> <p>大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="-"/> / <input type="text" value="-"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p>

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇取組概要

水道事業における企業債残高の増加を抑制し、経営健全化を推進する(市の財政負担を軽減)。

◇行財政改革の視点

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 2005
 取組事項名 水道事業における企業債残高の削減
 個別計画等 計画名等 水道事業中期財政計画

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	建設事業費(億円)	計画値 42.8	46.4	56.6	51.7	40.0
		実績値 34.7	39.3			
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶
 【平成28年度】建設事業費を計画値46.4億円から39.3億円にコスト縮減を図り、企業債残高の目標値を達成した。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

○企業債償還金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,752,575	1,894,390	1,877,815
	決算	1,743,193	1,755,118	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,693,485	1,709,229	1,607,010
	一般会計繰入金	49,708	45,889	270,805
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
企業債残高(億円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	251	251	250	249	249	246
実績値	251	251				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○企業債償還金

・事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標どおりの251億円(水道213億円、簡水38億円)となり、企業債残高の抑制が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
 (予算費目名) 水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29
予算	58,478	100,733	382,546
決算	58,478	100,733	
人件費(A)			
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	58,478	100,733	382,546

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
			目標			
			実績			
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	水道事業会計負担金					382,546	382,546					
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						382,546	382,546					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 水道事業会計負担金

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—	—	—

◇事業のコスト

◇事業のコスト		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	58,478	100,733	382,546
	決算	58,478	100,733	
	国・県支出			
	市債			
人件費(報酬等) (千円)	その他			
	一般財源	58,478	100,733	382,546
	一般会計繰入金			
	人件費 (千円)			
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	6,272	17,519	823,386
決算	5,133	15,073	
人件費(A)	81,880	83,080	155,360
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	87,013	98,153	978,746

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
共同住宅における小規模貯水槽の設置残件数	件	1,100	目標 実績	— 1,888	1,801 1,859	1,714
検針業務等の包括委託		継続運用	目標 実績	委託仕様検討・作成 委託仕様検討・作成	入札執行 入札執行	委託開始
			目標 実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
・浜松市水道事業ビジョンに基づき共同住宅の小規模貯水槽設置数の減数を目指し、貯水槽方式から直結方式へ切り替えるよう周知した。 ・H29年度からの包括委託に向けて、仕様書を作成し6月には入札を執行した。受託者への研修を実施し、新年度の業務開始に向け準備を行った。 ・より高度なICTを取り入れた機種(最新のスマートメーター等)の導入について、他都市での研究発表会に参加し情報収集に努めた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)			〇〇		920,483	765,123	21.1	0.6	0.5	1.5
2	浜松市水道事業(資本的支出)					58,263	58,263				
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						978,746	823,386	21.1	0.6	0.5	1.5

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

- ・適正な給水装置工事のため指定工事事業者に対する技術的指導及び水道使用に関する監督・指導を行う。
- ・検針業務を始め料金徴収にかかる業務を包括委託をすることで、業務の効率化や経費の削減を図る。
- ・より高度なICT技術を取り入れ、検針等の業務の省力化と効率化を図り業務の即時性を高める。

◇事業の概要

- ・給水装置工事指定事業者に対する指導・監督事業においては、指定事業者を対象とした技術講習会を実施する。
- ・給水装置工事の相談・受付・検査業務においては、給水装置工事の事前相談に対する技術的指導及び上水道使用に関する監督・指導を実施する。

【重点戦略項目No.101】

- ・料金収入の安定確保については、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図ることで収入の安定確保を目指す。
- ・収納関係事務については、業務を包括委託することで、事務の効率化や経費の削減を図る。
- ・検針・調定業務については、業務を包括委託することで効率化や経費の削減を図るとともに、より安全で軽量、高機能、低コストな検針システムの導入を目指す。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	6,272	17,519	765,123
	決算	5,133	15,073	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,133	15,073	765,123
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		81,880	83,080	155,360
人工	正規	10.2	10.3	21.1
	再任用(h31)	1.8	2.3	0.6
	再任用(h26)	1.0	0.5	0.5
	非常勤	0.5	0.5	1.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系 重点戦略項目No		
指定工事業者の違反行為 (件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	0	0	0	0		0
実績値	2	4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系 重点戦略項目No		
検針業務等の包括委託						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	委託仕様検討・作成	入札執行	委託開始	継続運用	継続運用	継続運用
実績値	計画通り	計画通り				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系 重点戦略項目No		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系 重点戦略項目No		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・給水装置工事指定事業者に対する指導・監督事業においては、指定事業者を対象とした技術講習会を実施する。
 ・給水装置工事の相談・受付・検査業務においては、給水装置工事の事前相談に対する技術的指導及び上水道使用に関する監督・指導を実施する。

【重点戦略項目No.101】

・料金収入の安定確保については、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図ることで収入の安定確保を目指す。
 ・収納関係事務については、業務を包括委託することで、事務の効率化や経費の削減を図る。
 ・検針・調定業務については、業務を包括委託することで効率化や経費の削減を図るとともに、より安全で軽量、高機能、低コストな検針システムの導入を目指す。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・給水装置工事の受付・検査等業務委託に関する説明会を開催し、適正な事務手続きの指導並びに給水装置の施工及び上水道使用に関する技術的指導を行った。
 ・料金収入の安定確保については、口座振替やクレジットカード制度を推奨し、新たな滞納発生を防ぐとともに、停水の強化をはじめ滞納分の早期解決を図った。
 ・収納関係事務については、H29年度からの包括委託に向けて、仕様書を作成し6月には入札を執行した。受託者への研修を実施し、新年度の業務開始に向け準備を行った。
 ・検針・調定業務については、H29年度からの包括委託に向けて、仕様書を作成し6月には入札を執行した。受託者への研修を実施し、新年度の業務開始に向け準備を行った。また、最新のスマートメーター導入は他都市での研究発表会に参加し情報収集に努めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・水道事業でのスマートメーター化についての研究は、電気ガスに比べ遅れており、先進政令市でもなかなか進んでいない状況であるが、今後の動向に注意していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成29年度より給水装置工事申込み(受付)及び完成検査業務の一部を業務委託することにより、人工の縮小が見込まれる。
 ・委託する業務を受託者に研修を行った。委託した業務についてはモニタリングにより職員の知識育成に努めていく。
 ・スマートメーターの導入について、引き続き常にアンテナを高くして情報収集をしていく。

補助シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
101	H29からの委託に向けた、現状の委託内容や新規委託の仕様書の作成	入札 委託業務の研修指導	5年間の委託業務開始 業務内容のモニタリング	業務内容のモニタリング
〇〇				

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇取組概要

検針業務等を包括委託することにより、さらなる業務の効率化と経費節減につながる仕様書を作成する。委託開始後は、業務の進捗状況をモニタリングすることで委託の効果を上げる。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 _____

取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	検針業務等の包括委託	計画値	委託仕様	入札執行	委託開始	継続運用
		実績値	計画通り	計画通り		
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

【平成28年度】

検針業務等の包括委託の実施に向けて、効果的な仕様の検討を行い、仕様書を作成した。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

・料金調定システム及びハードウェアリース代

◇事業の概要

・料金調定システム及びハードウェアリース代

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算			58,263
	決算			
	国・県支出			
	市債			
人件費(報酬等) (千円)	その他			
	一般財源			58,263
	一般会計繰入金			
人工	人件費 (千円)			
	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	2,960,641	3,254,137	4,290,355
決算	2,631,703	2,908,333	
人件費(A)	354,400	347,400	349,400
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,986,103	3,255,733	4,639,755

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
基幹管路耐震適合率	%	100	目標	59.1	62.2	66.4
			実績	59.0	62.2	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の62.2%を達成し、事業が計画通り進捗している。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	599,734	418,334	23.0	2.0	4.0	1.0
2	浜松市水道事業(資本的支出)				○	4,040,021	3,872,021	24.0			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						4,639,755	4,290,355	47.0	2.0	4.0	1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道水供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ 事業対象 水道配水管および付属施設

◇事業の概要

・配給水管維持管理事業 ・水道地理情報管理システム整備事業 ・消火栓維持管理事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	392,102	395,755	418,334
	決算	347,241	345,060	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	347,241	345,060	418,334
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		179,400	179,400	181,400
人工	正規	22.0	22.0	23.0
	再任用(h31)	2.0	2.0	2.0
	再任用(h26)	7.0	7.0	4.0
	非常勤			1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
漏水率 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3.8	3.7	4.2			3.7
実績値	3.8	3.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・配給水管維持管理事業
- ・水道地理情報管理システム整備事業
- ・消火栓維持管理事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・計画的に漏水調査を実施し漏水の早期発見に努めた結果、漏水率が昨年度の3.8%から3.5%に低減した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き計画的な漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新 事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

・配水管布設事業 ・消火栓設置事業(拡張費) ・老朽管等更新事業 ・管路耐震化事業 ・消火栓設置事業(改良費)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	2,568,539	2,858,382	3,872,021
	決算	2,284,462	2,563,273	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,284,462	2,563,273	3,872,021
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		175,000	168,000	168,000
人工	正規	25.0	24.0	24.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
基幹管路耐震適合率 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	59.1	62.2	66.4			100.0
実績値	59.0	62.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の62.2%を達成し、事業が計画通り進捗している。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

- ・平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目標に、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

- 管路の耐震化については、被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路を今後も優先して実施し、平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目指す。

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・浄水場業務、水質管理体制の官民連携

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	3,213,776	3,345,835	3,384,483
決算	3,142,018	3,249,258	
人件費(A)	136,400	130,600	130,600
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,278,418	3,379,858	3,515,083

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
水安全計画の策定	%	100	目標	20	60	70
			実績	20	60	
水源上流域の調査・危害対応策作成	%	100	目標	20	40	60
			実績	20	40	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・浄水場業務、水質管理体制の官民連携

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- ・安心・安全な水道水給水を安定的に継続した。安全な水の供給を確実にする水道システム「水安全計画」の策定を進めた。市内水道施設18施設を対象として順次策定し、10箇所策定が完了した。
 - ・水源上流部における有害物質取扱い事業所の調査を実施(71物質、389事業所)。上流での使用が確認された化学物質について、使用量と親水性によるリスクレベル分けを実施した。
 - ・施設維持管理のため委託、工事、補修、自家用電気工作物管理を実施。浄水場の委託業者を監督するとともに、協力・連携の体制強化を図った。施設見学対応に派遣業者を委託し5,214人を受入。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	3,515,083	3,384,483	17.0	1.0	2.0	1.0	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,515,083	3,384,483	17.0	1.0	2.0	1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

安全な水道水を供給するため水道法に基づく定期水質検査及び必要な検査を実施し、その結果を公表し安全な水道水のPRを行う。また、水道水源の流域の化学物質等を排出する事業所の把握等水源水質の監視を行う。必要な水量確保のため、県企業局からの受水、三方原用水や井戸の維持管理を行う。取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務を行う。

◇事業の概要

- 水質検査及び水質管理
 - ・水道法等に基づく水質検査 ・大原浄水場の水質試験及び水質管理
 - ・水質関係の市民相談及び洗管水の水質検査
 - ・水安全計画の策定
- 水源水質保全
 - ・水源上流域の調査 ・静岡県企業局からの受水量計画及び調整
 - ・三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)による設備更新
 - ・自己水源(深井戸)の維持管理
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
 - ・取水・配水及び受水の計画及び実施 ・浄水施設維持管理及び維持管理のための委託及び工事契約
 - ・施設補修工事の設計・実施及び監督 ・自家用電気工作物管理
 - ・施設点検及び監視業務(委託業務)の管理監督 ・浄水場施設見学の受入・案内

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	3,213,776	3,345,835	3,384,483
	決算	3,142,018	3,249,258	
国・県支出				
市債				
その他				
一般財源		3,142,018	3,249,258	3,384,483
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		136,400	130,600	130,600
人工	正規	18.0	17.0	17.0
	再任用(h31)		1.0	1.0
	再任用(h26)	4.0	2.0	2.0
	非常勤		1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系			重点戦略項目No
水安全計画の策定(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36	
目標値	20	60	70	80	100	100	
実績値	20	60					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)							
水源上流域の調査・危害対応策作成(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36	
目標値	20	40	60	80	100	100	
実績値	20	40					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)							
-							
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36	
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)							
-							
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36	
目標値							
実績値							

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 水質検査及び水質管理
 - ・水道法等に基づく水質検査 ・大原浄水場の水質試験及び水質管理
 - ・水質関係の市民相談 ・簡易水道及び洗管水の水質検査
 - ・水安全計画の策定
- 水源水質保全
 - ・水源上流域の調査 ・静岡県企業局からの受水量計画及び調整
 - ・三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)による設備更新
 - ・自己水源(深井戸)の維持管理
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
 - ・取水・配水及び受水の計画及び実施 ・浄水施設維持管理及び維持管理のための委託及び工事契約
 - ・施設補修工事の設計・実施及び監督 ・自家用電気工作物管理
 - ・施設点検及び監視業務(委託業務)の管理監督 ・浄水場施設見学の受入・案内

・事業の成果と課題

指標の達成度

- 水質検査及び水質管理

水道法等に基づく給水栓等の水質検査51項目、自主的に行う原水の水質検査を給水栓と同じ51項目実施。市民相談は70件(平成29年3月22日現在)に対応。水安全計画の策定を進めた。
- 水源水質保全

水源上流域の調査、自己水源(深井戸)の維持管理を行い水源水質の保全に努めた。三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)の協定書を締結し、一部更新工事が開始された。
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務

計画的な取水・配水及び県水受水を行った。浄水施設維持管理のため委託、工事、補修、自家用電気工作物管理を実施。浄水場委託業者の管理監督を行うとともに協力と連携の体制強化を図った。管理監督浄水場施設見学の受入・案内に派遣業者を委託し、全68件5,214人を受け入れた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

一部民間委託している浄水場運転管理業務を平成28年度から新たな委託契約を締結し、個別委託している業務を包括化して契約することにより業務の効率化を図り、職員1名を削減した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

包括化した浄水場運転管理業務の受託者との連携を進め、安心・安全で低廉な飲料水の供給を継続するとともに、老朽化した施設の適正な修繕・更新を図り、水源汚染等の危機管理及び高度浄水処理の可能性の検討を行う。

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・水道施設の適正な維持管理。
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	1,356,311	1,432,654	1,660,648
決算	1,251,097	1,375,110	
人件費(A)	207,800	205,200	206,200
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,458,897	1,580,310	1,866,848

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
基幹管路耐震適合率	%	100	目標	59.1	62.2	66.4
			実績	59.0	62.2	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

- ・水道施設の適正な維持管理。
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の62.2%を達成し、事業が計画通り進捗している。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	548,772	377,572	21.0	6.0	1.0		
2	浜松市水道事業(資本的支出)				○	1,318,076	1,283,076	5.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,866,848	1,660,648	26.0	6.0	1.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ。 事業対象 水道配水管および付属施設。

◇事業の概要

・施設管理事業 ・配給水管維持管理事業 ・配給水管切替事業 ・消火栓維持管理事業 ・災害対応の強化

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	329,337	335,463	377,572
	決算	277,963	297,717	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	277,963	297,717	377,572
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		172,800	170,200	171,200
人工	正規	22.0	21.0	21.0
	再任用(h31)	3.0	5.0	6.0
	再任用(h26)	2.0	2.0	1.0
	非常勤	1.0		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
漏水率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3.8	3.7	4.2			3.7
実績値	3.8	3.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・災害対応の強化

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努めた結果、漏水率が昨年度の3.8%から3.5%に低減した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き計画的な漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新
事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 配水管布設事業 施設整備事業 消火栓設置事業(拡張費) 老朽管等更新事業 管路耐震化事業 施設改良事業費 施設耐震化事業 消火栓設置事業(改良費) 安定供給システムの構築

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,026,974	1,097,191	1,283,076
	決算	973,134	1,077,393	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	973,134	1,077,393	1,283,076
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		35,000	35,000	35,000
人工	正規	5.0	5.0	5.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
基幹管路耐震適合率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	59.1	62.2	66.4			100
実績値	59.0	62.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・配水管布設事業
- ・施設整備事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・施設改良事業費
- ・施設耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)
- ・安定供給システムの構築

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の62.2%を達成し、事業が計画通り進捗している。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

- ・平成36年度末における基幹管路耐震化適合率100%を目標に、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

- ・管路耐震化については、災害時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路を今後も優先して実施し、平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目指す。

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	351,589	468,399	767,346
決算	322,205	284,553	
人件費(A)	63,700	63,200	112,600
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	385,905	347,753	879,946

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
基幹管路耐震適合率	%	100	目標	59.1	62.2	66.4
			実績	55.7	62.2	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の62.2%を達成し、事業が計画通り進捗している。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	367,251	300,251	7.0	5.0			
2	浜松市水道事業(資本的支出)				○	512,695	467,095	6.0	1.0			
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						879,946	767,346	13.0	6.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道水供給のため、水道施設および管路を正常な状態に保つ 事業対象 水道施設および管路

◇事業の概要

・施設管理事業 ・配給水管維持管理事業 ・消火栓維持管理事業 ・配水給水管切替事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	68,891	190,670	300,251
	決算	56,754	48,073	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	56,754	48,073	300,251
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		49,700	49,200	67,000
人工	正規	6.0	6.0	7.0
	再任用(h31)	1.0	2.0	5.0
	再任用(h26)	0.5		
	非常勤	1.0		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
漏水率 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3.8	3.7	4.2			3.7
実績値	3.8	3.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
水安全計画の策定(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	20	60	70	80	100	100
実績値	20	60				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・配水給水管切替事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

漏水率

- ・計画的に漏水調査を実施し漏水の早期発見に努めた結果、漏水率が昨年度の3.8%から3.5%に低減した。

水安全計画の策定(%)

- ・安全な水の供給を確実にする水道システム「水安全計画」の策定を進めた。市内水道施設18施設を対象として順次策定し、10個所の策定が完了した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努めた。
- ・水道施設18施設を対象として順次「水安全計画」の策定をし、10個所の策定が完了した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き計画的な漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。
- ・引き続き「水安全計画」の策定を進める。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新 事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・配水管布設事業 ・消火栓設置事業(拡張費) ・老朽管等更新事業 ・管路耐震化事業 ・消火栓設置事業(改良費) ・施設改良事業 ・施設耐震化事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	282,698	277,729	467,095
	決算	265,451	236,480	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	265,451	236,480	467,095
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		14,000	14,000	45,600
人工	正規	2.0	2.0	6.0
	再任用(h31)			1.0
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
基幹管路耐震適合率 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	59.1	62.2	66.4			
実績値	59.0	62.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・施設改良事業
- ・施設耐震化事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の62.2%を達成し、事業が計画通り進捗している。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目標に、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 管路の耐震化については、被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路を今後も優先して実施し、平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目指す。

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 飲料水供給施設費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

(1) 濁水や濁水に対応した取水施設や浄水施設の整備に努め、自然環境変化の影響を最小限に抑えるとともに、水質管理を徹底し、安全でおいしい水の供給を目指します。
 (2) 小規模水道に特化した施設整備手法の検討を行い、効果的かつ計画的な施設の更新により、いつでも安定した飲料水の供給を目指します。
 (3) 水道施設の必要な知識・技術の継承に努め地元水道業者との連携を図り、施設の適正な維持管理を推進し地域とともにつくる水道の持続を目指します。
 (4) 大規模地震や台風など災害時でも飲料水が確保できる体制づくりを目指します。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	78,273	83,204	83,834
決算	76,661	80,919	
人件費(A)	28,000	28,000	24,500
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	104,661	108,919	108,334

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
水質検査受検率	%	100	目標	95	95	100
			実績	93	91	
水質適合率	%	100	目標	85	95	100
			実績	82	80	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

(1) 濁水や濁水に対応した取水施設や浄水施設の整備に努め、自然環境変化の影響を最小限に抑えるとともに、水質管理を徹底し、安全でおいしい水の供給を目指します。
 (2) 小規模水道に特化した施設整備手法の検討を行い、効果的かつ計画的な施設の更新により、いつでも安定した飲料水の供給を目指します。
 (3) 水道施設の必要な知識・技術の継承に努め地元水道業者との連携を図り、施設の適正な維持管理を推進し地域とともにつくる水道の持続を目指します。
 (4) 大規模地震や台風など災害時でも飲料水が確保できる体制づくりを目指します。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

飲料水供給施設の維持修繕を行うほか、高齢化や過疎化で維持管理が困難な水道組合に対し、維持管理委託費と水質検査費を助成し、安全で安定した生活用水の供給を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	飲料水供給施設等維持管理 事業					35,745	28,745	1.0				
2	飲料水供給施設等整備事業					63,986	49,986	2.0				
3	飲料水供給施設等管理助成 事業(補助金)					8,603	5,103	0.5				
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						108,334	83,834	3.5				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等維持管理事業

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設の修繕を行い、生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

飲料水供給施設等の修繕のほか、事業活動全般に関する庶務事務等を行う。
 (公設飲料水供給施設156施設)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	19,605	16,129	28,745
	決算	19,421	14,922	
	国・県支出			
	市債			
	その他	1,125	1,368	1,750
	一般財源	18,296	13,554	26,995
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		7,000	7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0	1.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

飲料水供給施設等の修繕のほか、事業活動全般に関する庶務事務等を行う。
(公設飲料水供給施設158施設、公設民営簡易水道施設4施設)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

漏水等の緊急修繕を実施、安定した飲料水の供給に努めた。
施設維持修繕 44件 13,857千円

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / - 事業費 現状 人工 現状

各施設の維持管理は、施設の管理者や地域住民が主体となって行われていますが、過疎化や高齢化により維持管理が困難な状況になっています。そこで、維持を基本とした施設の改修に重点をおき、有事における迅速な対応を図るため、地元水道業者との連携を深めるための検討や、安全な飲料水の確保のための支援方策、施設の延命化のための維持管理手法、補助制度の見直しを検討する必要があるが、検討に至れなかった。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

過疎化や高齢化により人口減少はより進むと思われ、施設の更新は過大な投資に繋がりがねない。維持を基本とした施設の改修に重点をおき、有事における迅速な対応を図るため、地元水道業者との連携を深める中で、安全で良質な水道水を安定供給を図っていくほか、支援方策、施設の延命化のための維持管理手法、補助制度の見直しを検討する

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等整備事業

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設の浄水施設整備、取水施設整備及び老朽管更新などの施設整備を行い、安心安全な生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

- (1) 消毒設備・浄水施設整備事業
- (2) 取水施設整備事業
- (3) 施設改良整備事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	53,127	60,757	49,986
	決算	51,699	59,774	
	国・県支出			
	市債	44,100	48,500	23,000
	その他	2,898	5,968	4,993
	一般財源	4,701	5,306	21,993
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		14,000	14,000	14,000
人工	正規	2.0	2.0	2.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
消毒設備設置率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	88	90	88			100
実績値	87	87				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- (1) 消毒設備・浄水施設整備事業
- (2) 取水施設整備事業
- (3) 施設改良整備事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- (1) 消毒設備・浄水施設整備事業 10事業
- (2) 取水施設整備事業 1事業
- (3) 施設改良整備事業 8事業

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

人口減少が進む中で、過大な投資とならぬように個々の施設に応じた工法の見直しを検討し事業費の削減を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

人口減少が進む中で、過大な投資とならぬように工法の見直しを検討し事業費の削減を図っていく。

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等管理助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設の水質検査及び維持管理委託費用の一部を助成し、適正な維持管理を促進して安心安全な生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

- (1) 水質検査に要する費用に対する助成
- (2) 維持管理の委託に要する費用に対する助成

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	5,541	6,318	5,103
	決算	5,541	6,223	
	国・県支出			
	市債			
	その他	3,000	3,653	2,000
	一般財源	2,541	2,570	3,103
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		7,000	7,000	3,500
人工	正規	1.0	1.0	0.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
水質検査受検率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	95	95				100
実績値	93	90				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
水質適合率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	85	95				100
実績値	82	80				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- (1)水質検査に対する助成
(2)維持管理の委託費用に対する助成

・事業の成果と課題

指標の達成度

- (1)水質検査に対する助成 146施設
(2)維持管理の委託費用に対する助成 53施設

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

利用者が少数世帯となっている飲供施設も数施設あり、こうした施設の受検が進まなかった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

管理者講習会を通じて衛生管理の重要性を理解していただくように努め水質検査実施率・適合率を100%に向上させる。

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 小規模水道施設費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

特定未普及地域の住民が行う水道施設改修及び水質検査、維持管理委託に要する費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	9,691	3,734	3,510
決算	9,313	3,734	
人件費(A)	1,800	1,800	1,800
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	11,113	5,534	5,310

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
			目標			
			実績			
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に要する費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行った。

施設改修 2件
 水質検査 8件
 維持管理委託 2件
 水の宅配 3件

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	生活用水応援事業					5,310	3,510		0.5		
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						5,310	3,510		0.5		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 生活用水応援事業

◇事業目的・事業対象

特定未普及地域の生活用水の確保を支援し、市民がいつでも安心して生活できるように努める。

◇事業の概要

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H21	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	9,691	3,734	3,510
	決算	9,313	3,734	
	国・県支出			
	市債			
	その他	3,700	4	107
	一般財源	5,613	3,730	3,403
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		1,800	1,800	1,800
人工	正規			
	再任用(h31)	0.5	0.5	0.5
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

施設改修 2件

水質検査 8件

維持管理委託 2件

水の宅配 3件

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市水道が提供できていない水道未普及地域の住民は水道施設等の設置及び維持管理を自己責任で全額自己負担で行っているため、衛生的にも好ましい状況になく、施設改修、水質検査及び維持管理委託の費用の一部を助成する補助制度を創設し、衛生管理の必要性と費用負担の軽減を図った。また、濁水や濁水により生活用水の確保が困難な世帯には、水の宅配サービスを行い安全で良質な生活用水の確保を行い、住み慣れた地域でいつまでも生活できるように努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

特定未普及地域の状況把握に努め、引き続き安全安心な飲料水の確保を支援していく